



Hāf a A d a i

令和3年5月27日
グアム日本人学校
学校だより
6月号

グアムのコロナ対策

令和3年度新学期がスタートして3週間ほどが過ぎました。子どもたちも学校生活に少し慣れてきて、元気な声が学校中に響いています。

日本では、コロナの勢いが衰えず、変異種の広がりもあって、なかなか終息の見通しが立たない状況です。経済への打撃は言うまでもなく、人々の心にも一層暗い影が広がっている感じがいたします。その点、安心はできませんがグアムの状況には明るいものを感じます。皆さんが一つになって感染対策に取り組んでおられるという印象を受けます。

本校でも、毎朝、先生方は子どもたちの登校前に教室の消毒をし、授業中はソーシャルディスタンスに気を配り、マスク着用や手の消毒にも引き続き力を入れて参ります。

朝の登校の様子です

毎朝、職員全員で子どもたちを迎えています。「おはようございます」という明るく元気な声が聞こえてきます。昨日はおうちに帰ってから、どんなことがあったのでしょうか。楽しいことがあったのでしょうか。それともお父さんやお母さんに怒られたりしたのでしょうか。夜はしっかり眠れたのでしょうか。朝はきちんと起きられたのでしょうか。いろいろなことを考えながら子どもたちの表情を見、声を聞いています。今日も一日、よく学び、よく遊び、いい思い出ができるよう見守っていきたいと思います。



地震避難訓練を実施しました

5月4日（火）、地震避難訓練を実施しました。10年前、東日本大震災が発生し、何万人という方々が亡くなりました。私は、ある中学校に勤めておりましたが、その日は卒業式が終わったばかりで、ほっと一息ついているときでした。ふと職員室のテレビをつけると海の水が陸地の方へどンドン遡っているところでした。見たことのない状況に身が震える思いがしました。

グアムも島国ですから、地震とともに津波の危険性もないとはいえません。発生しないことを願っていますが、万が一起きたときの備えが大事だと改めて肝に銘じました。

